

2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社 チノー
(東証プライム : 6850)

- 1.2024年3月期 第1四半期決算
 - 1) 決算ハイライト
 - 2) 業績サマリー
 - 3) 営業利益増減分析
 - 4) 四半期別連結売上高の推移
 - 5) セグメント別の業績動向
 - 6) 連結貸借対照表
 - 7) 地域別売上高

- 2.株主還元

- 3.トピックス

- 4.通期業績予想

1.2024年3月期 第1四半期決算

1) 決算ハイライト

2024年3月期 第1四半期 連結業績

受注高



6,636百万円

前年同期比 14.7%減



売上高



5,517百万円

前年同期比 13.4%増



受注高は、脱炭素関連（燃料電池評価試験装置や水電解評価装置）の需要は継続するも、前年同期が高水準だったこともあり、前年同期比では減少。
売上高は、当社顧客（製造業）の設備投資が堅調に推移するとともに、部材供給不足が一部を除いて解消したことにより生産が安定化し増収。

<利益面>

営業利益



377百万円

前年同期比 164.7%増



経常利益



478百万円

前年同期比 56.6%増



四半期純利益（親会社株主に帰属）



262百万円

前年同期比 36.8%増



利益は、増収効果および原価率の改善等を主因として各項目とも増益

2) 業績サマリー (1)

◇ 連結業績

(百万円)

	FY2022 1Q	FY2023 1Q	対前期増減額	対前期増減率
受注高	7,776	6,636	▲ 1,140	▲ 14.7%

	FY2022 1Q	FY2023 1Q	対前期増減額	対前期増減率
売上高	4,866	5,517	650	13.4%
売上総利益 <利益率>	1,482 <30.5%>	1,756 <31.8%>	273 <1.3p>	18.4%
営業利益 <利益率>	142 <2.9%>	377 <6.8%>	235 <3.9p>	164.7%
経常利益 <利益率>	305 <6.3%>	478 <8.6%>	173 <2.3p>	56.6%
四半期純利益 (親会社株主に帰属) <利益率>	191 <3.9%>	262 <4.8%>	70 <0.9p>	36.8%

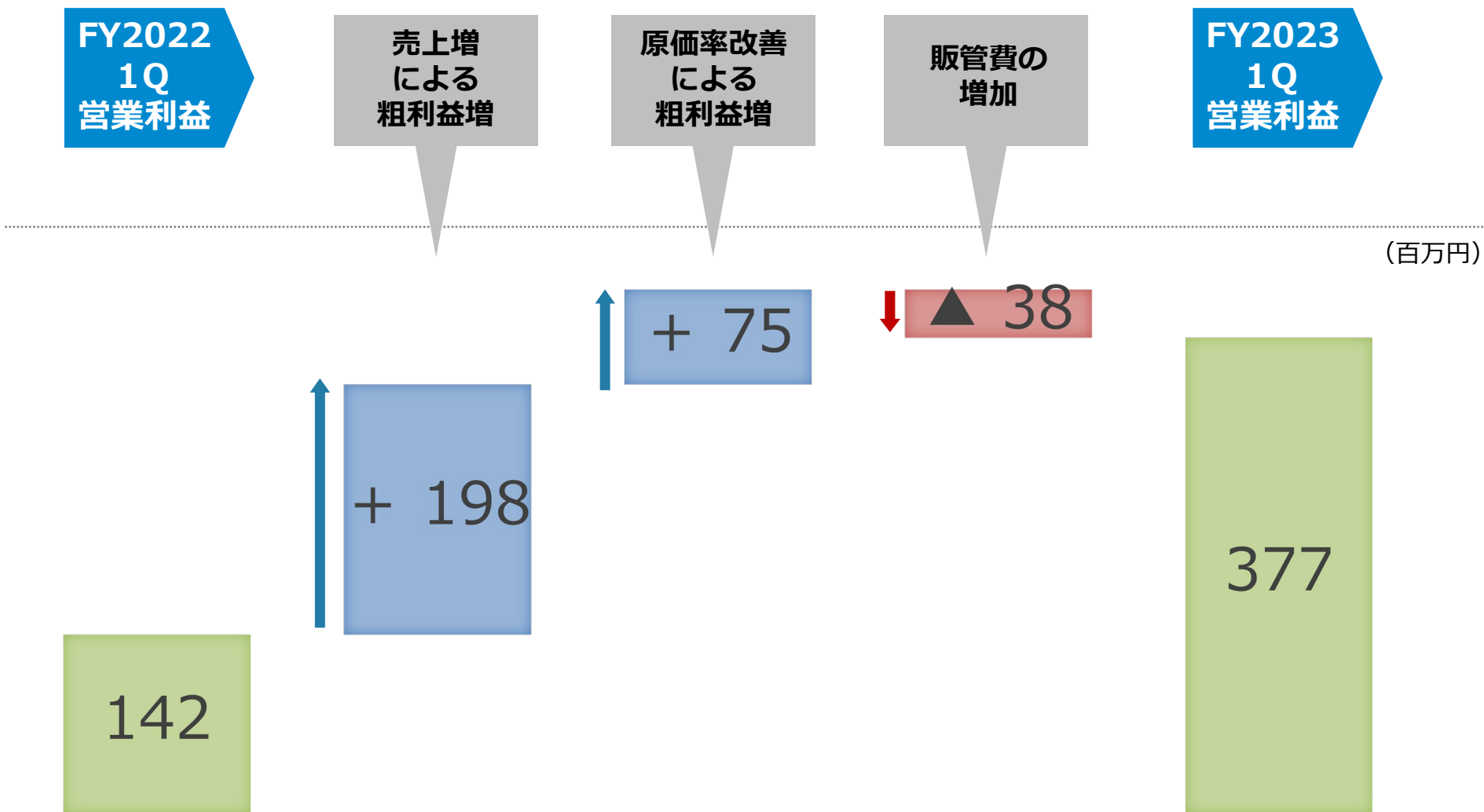
2) 業績サマリー (2)

◇セグメント別業績

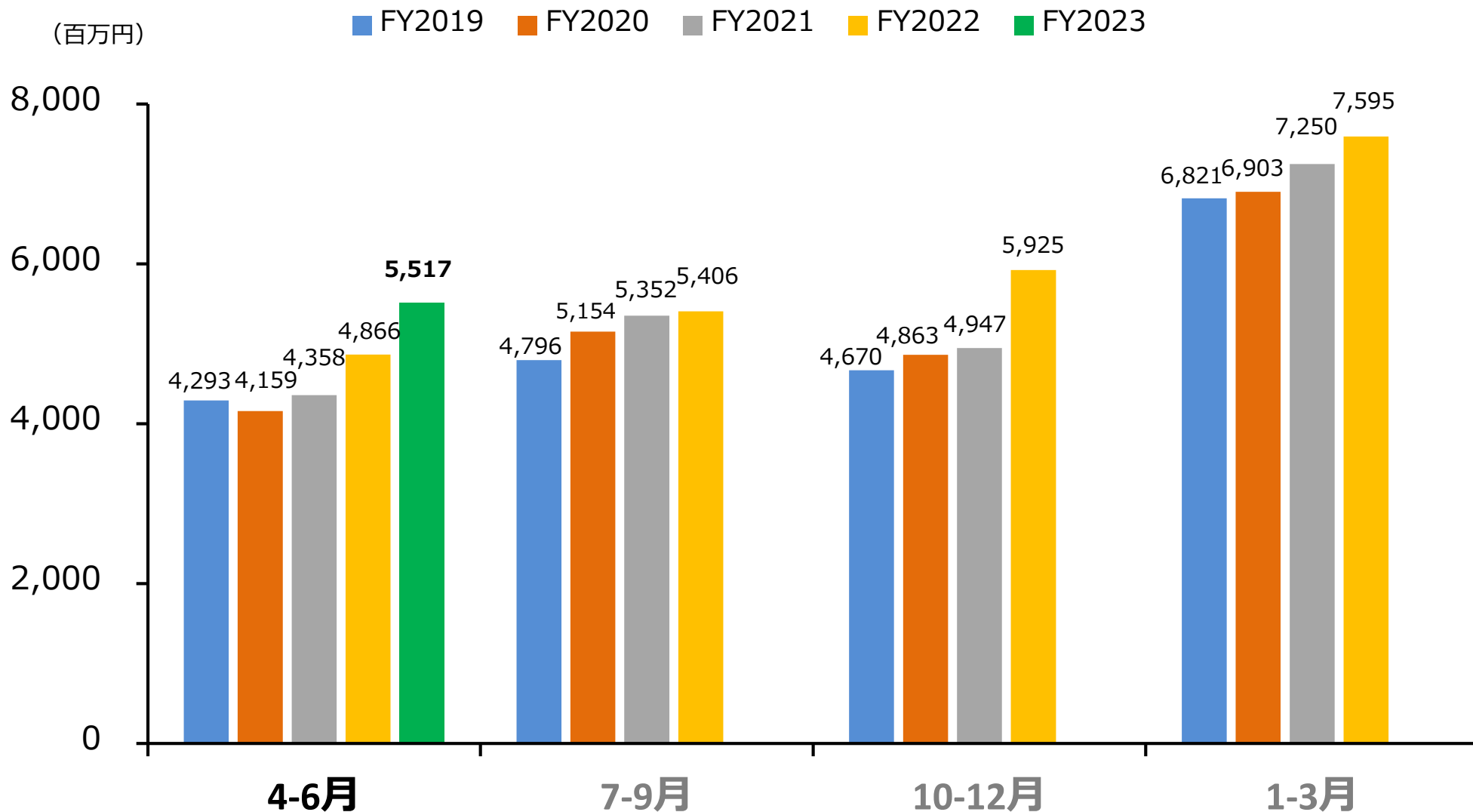
(百万円)

	受注高				売上高				セグメント利益 (営業利益)			
	FY2022 1Q	FY2023 1Q	増減額	増減率 (%)	FY2022 1Q	FY2023 1Q	増減額	増減率 (%)	FY2022 1Q	FY2023 1Q	増減額	増減率 (%)
計測制御機器	2,101	2,042	▲ 58	▲ 2.8	1,754	2,114	360	20.5	167	254	87	52.1
計装システム	3,675	2,631	▲ 1,043	▲ 28.4	1,394	1,565	170	12.2	156	265	108	69.5
センサ	1,841	1,752	▲ 88	▲ 4.8	1,541	1,645	104	6.7	181	265	83	46.1
その他	158	209	51	32.4	175	191	15	8.9	7	40	32	463.0
全社費用									▲ 369	▲ 446	▲ 77	—
合計	7,776	6,636	▲ 1,140	▲ 14.7	4,866	5,517	650	13.4	142	377	235	164.7

3) 営業利益増減分析



4) 売上高の推移



5) セグメント別の業績動向 ① 計測制御機器

損益状況

売上高

2,114百万円 前年同期比 20.5%増



セグメント利益

254百万円 前年同期比 52.1%増

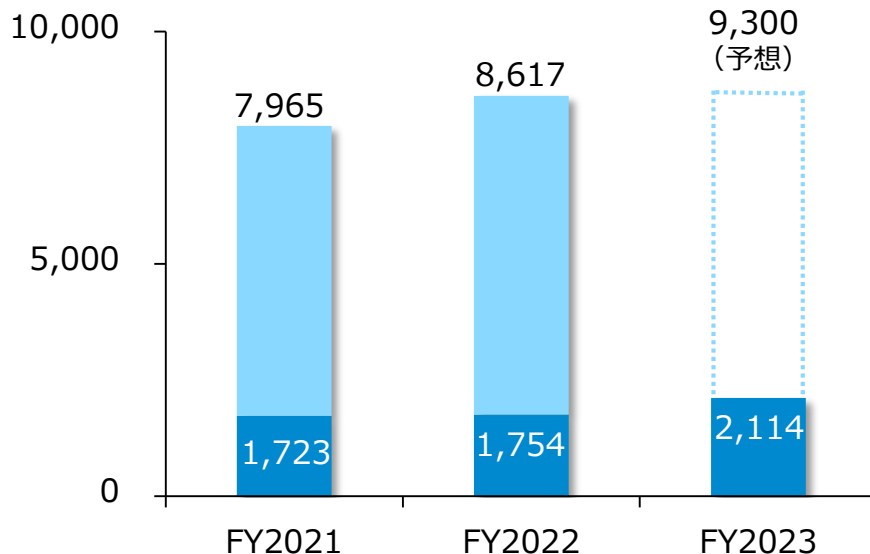


製品別状況

- 半導体・電子部品の製造設備や熱処理装置向けを中心に需要は堅調
- 海外市場（特に中国、韓国等）の需要が伸長
- 前年同期比では、増収効果を主因とし増益（※ 前1Qは中国都市封鎖によるサプライチェーン混乱のため一部の製品の生産に支障があり売上が低水準）

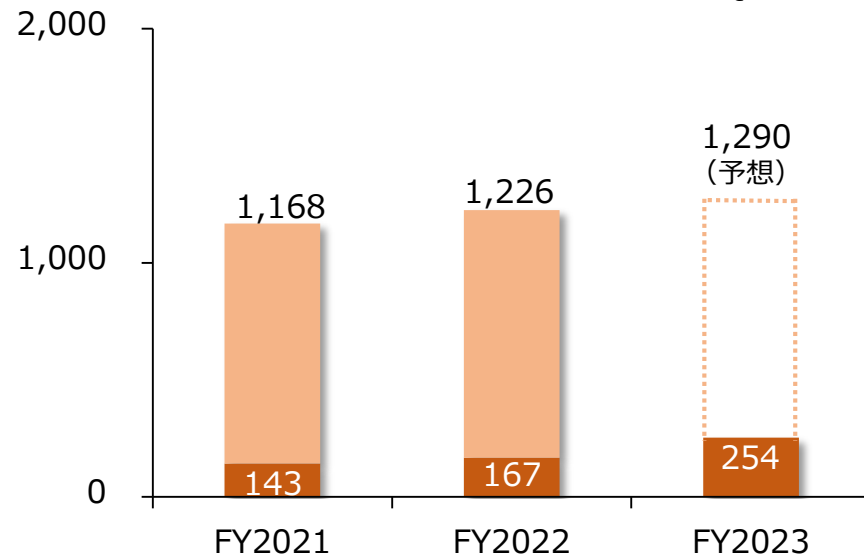
<売上高>

(百万円)

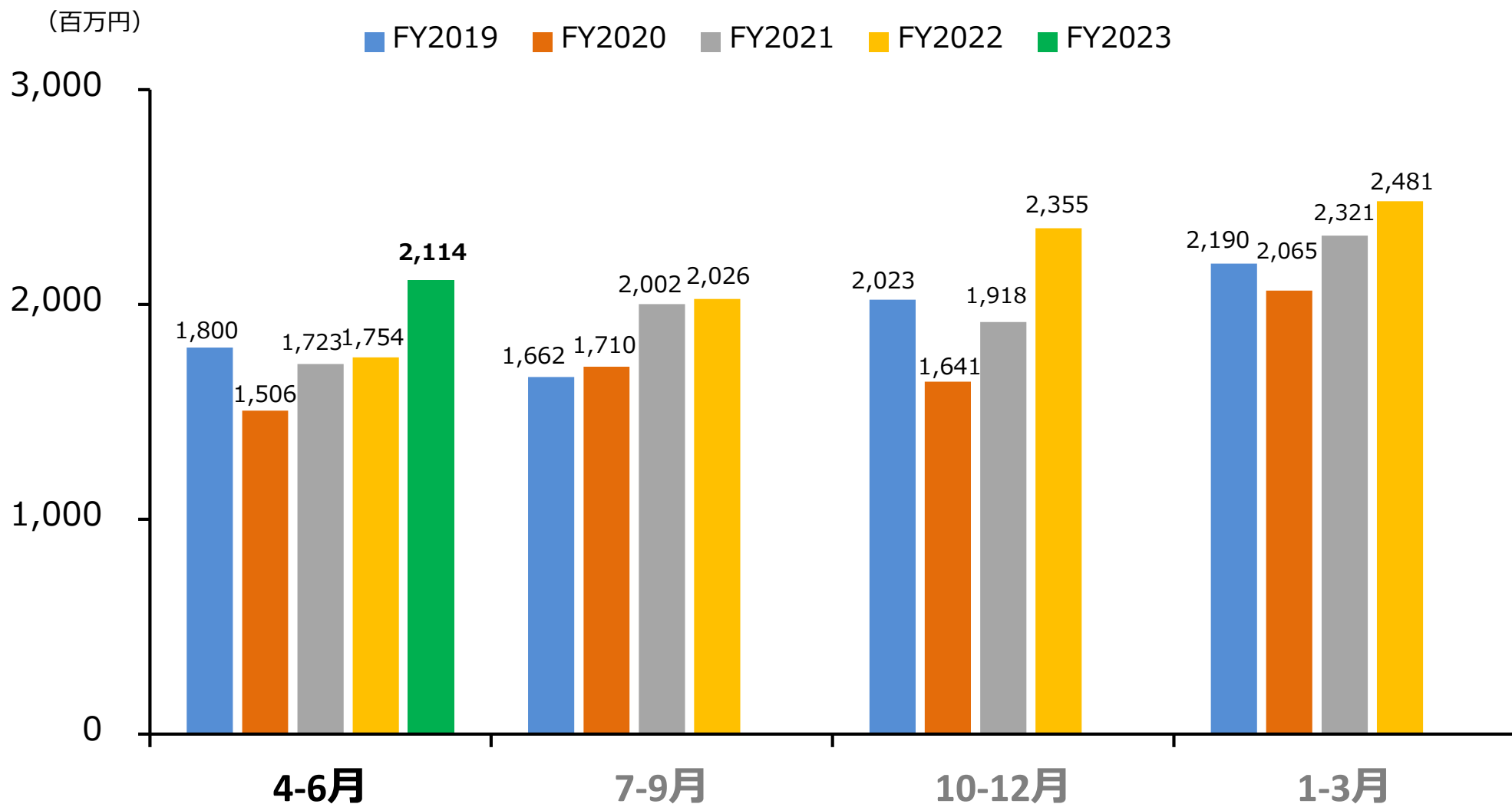


<セグメント利益>

(百万円)



5) 売上高推移 ① 計測制御機器



5) セグメント別の業績動向 ② 計装システム

損益状況

売上高



1,565百万円 前年同期比 12.2%増



セグメント利益



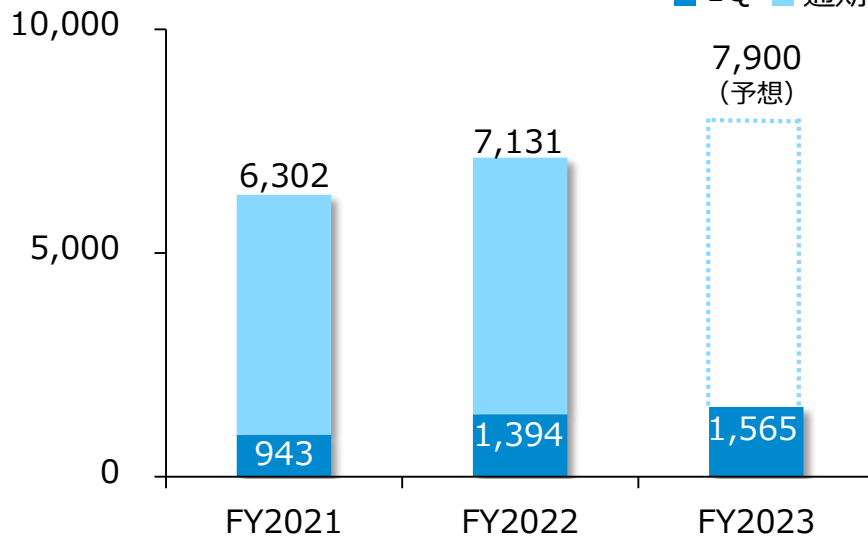
265百万円 前年同期比 69.5%増



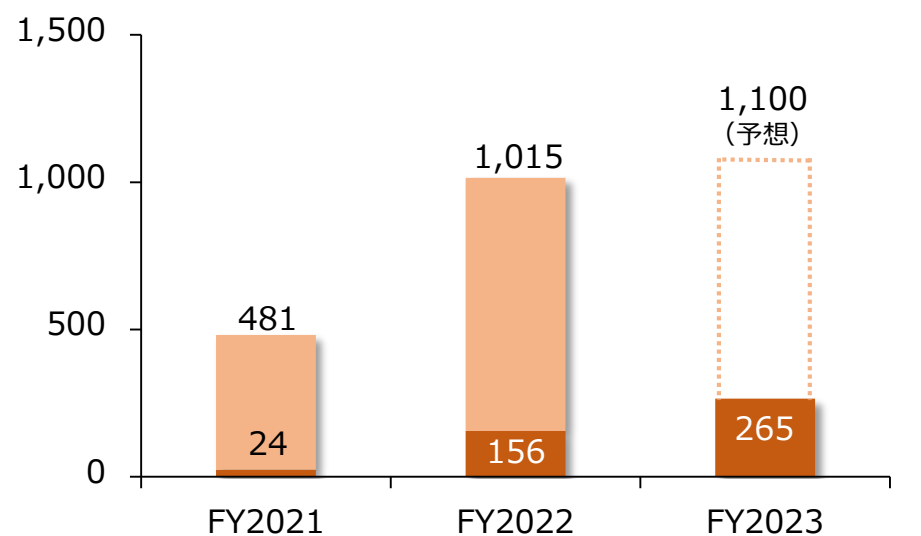
製品別状況

- 脱炭素関連として、自動車向けなどの燃料電池評価試験装置や、水素エネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の需要が継続
- コンプレッサー評価試験装置は自然冷媒対応機器の需要増により増収
- 前年同期比では、増収および原価率の改善を主因とし増益

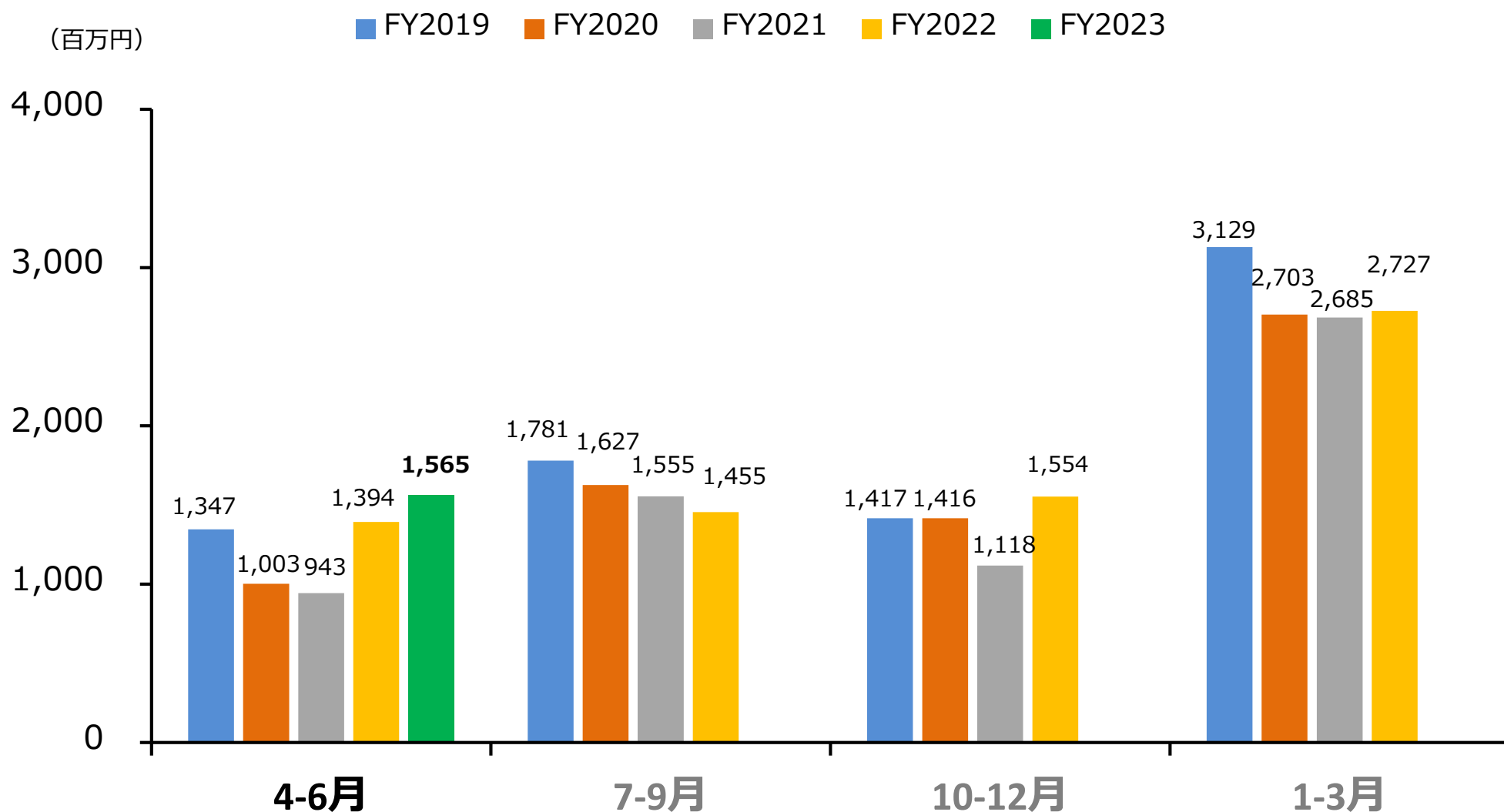
<売上高>
(百万円)



<セグメント利益>
(百万円)



5) 売上高推移 ② 計装システム



5) セグメント別の業績動向 ③ センサ

損益状況

売上高



1,645百万円 前年同期比 6.7%増

セグメント利益

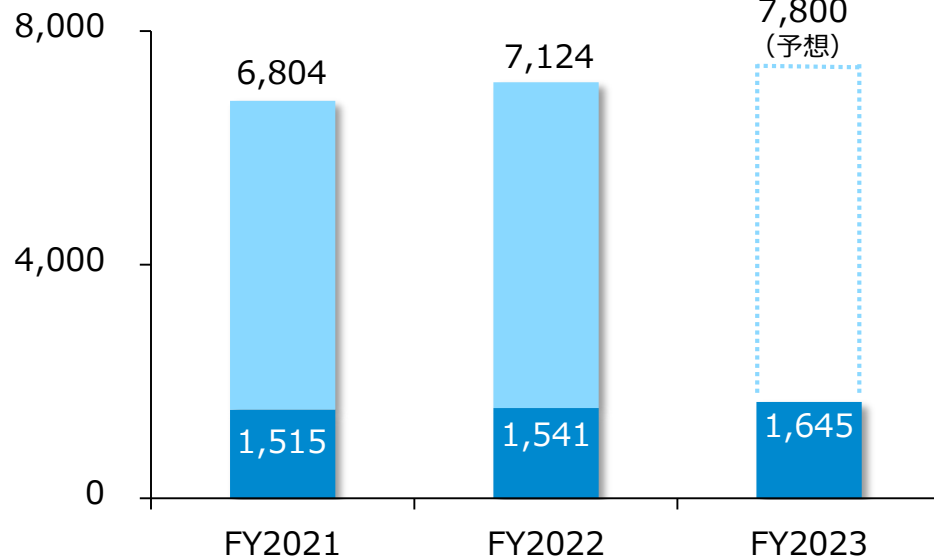


265百万円 前年同期比 46.1%増

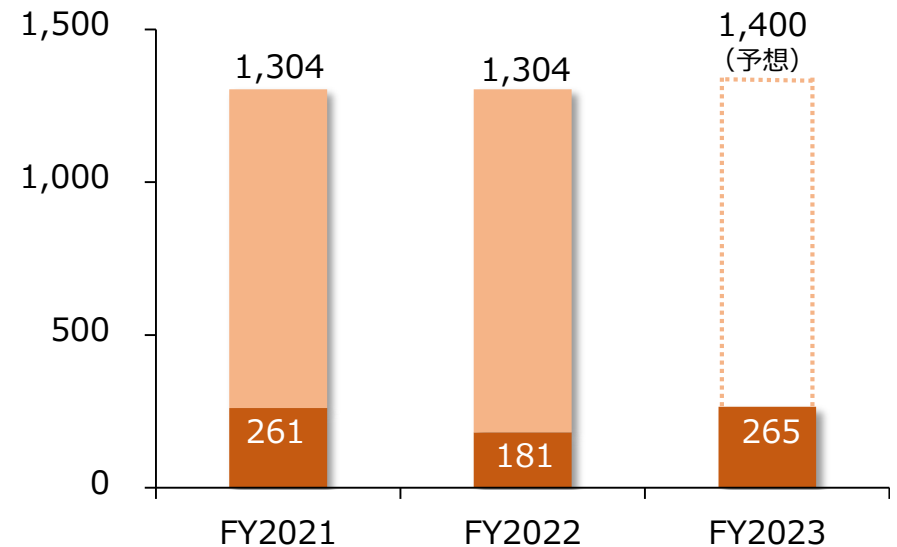
製品別状況

- 放射温度計、温度センサともに半導体関連の製造装置向けを中心に需要が好調
- AMS規格対応の温度センサの需要が堅調 ※AMS規格：航空宇宙産業における特殊工程の規格
- 前年同期比では、増収および原価率の改善を主因とし増益

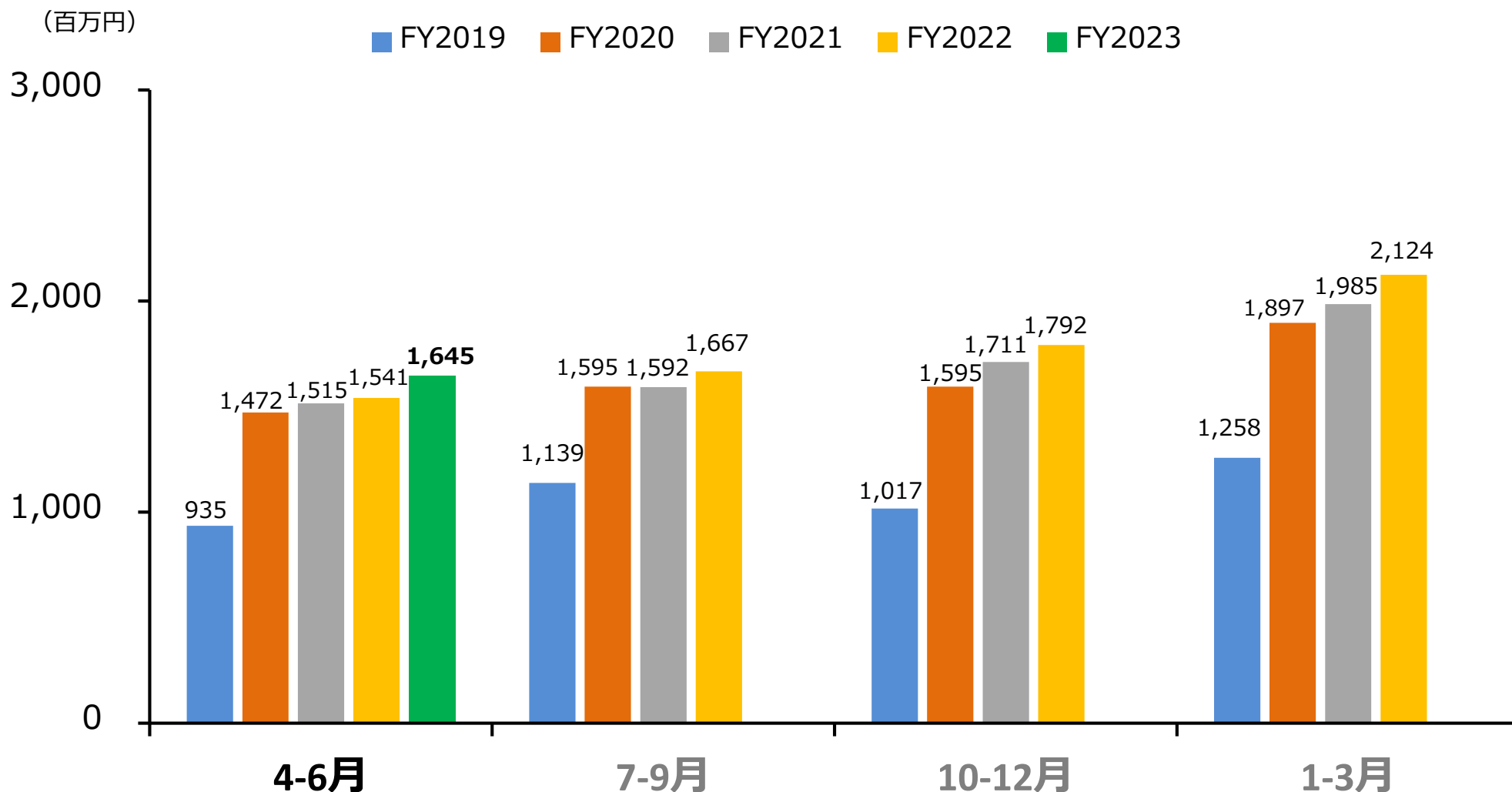
<売上高>
(百万円)



<セグメント利益>
(百万円)



5) 売上高推移 ③ センサ



6) 連結貸借対照表

- 資産 前期末比では、棚卸資産が増加した一方で、売上債権・現預金等が減少し、合計485百万円の減少
- 負債 長期借入金の減少等により固定負債は119百万円減少、仕入債務の減少等により流動負債は303百万円減少し、負債合計では前期末比423百万円の減少
- 純資産 配当金支払いによる株主資本の減少を主因とし、前期末比62百万円の減少

(百万円)

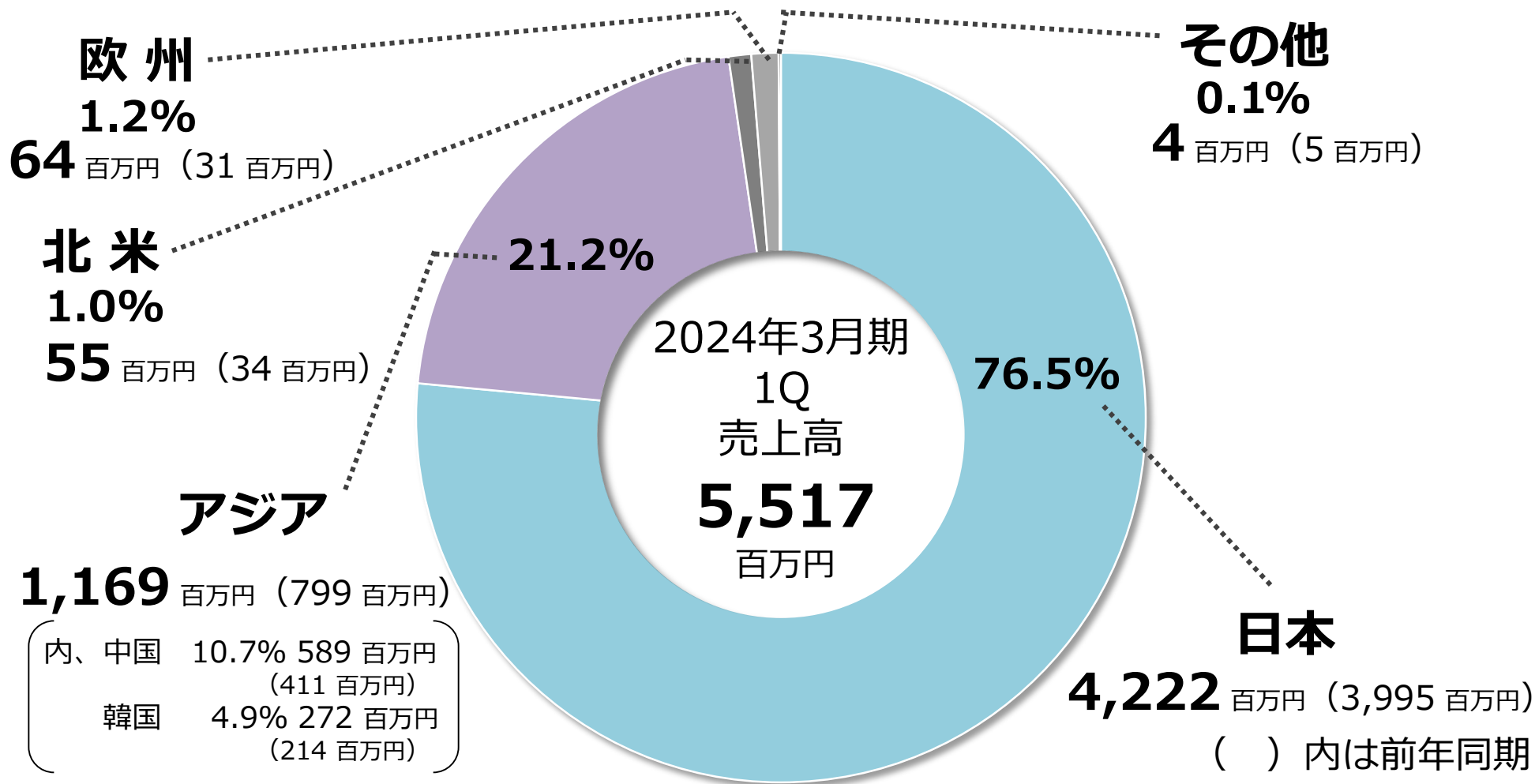
科目	2023年3月末	2023年6月末	増減
流動資産	26,322	25,662	▲ 660
現預金	9,176	8,186	▲ 990
売上債権	8,281	7,241	▲ 1,040
棚卸資産	8,576	9,876	1,299
その他	287	358	70
固定資産	9,967	10,142	175
有形固定資産	5,578	5,592	13
無形固定資産	436	414	▲ 21
投資その他の資産	3,952	4,135	183
資産合計	36,289	35,804	▲ 485

科目	2023年3月末	2023年6月末	増減
流動負債	10,489	10,186	▲ 303
仕入債務	5,317	5,030	▲ 286
短期借入金	1,724	1,701	▲ 23
その他	3,446	3,454	7
固定負債	4,225	4,106	▲ 119
長期借入金	1,660	1,570	▲ 89
その他	2,565	2,536	▲ 29
純資産	21,574	21,512	▲ 62
株主資本	18,471	18,289	▲ 182
その他の包括利益累計額	312	452	140
非支配株主持分	2,790	2,770	▲ 20
負債純資産合計	36,289	35,804	▲ 485

自己資本比率：2023年6月末 52.3%、2023年3月末 51.8%

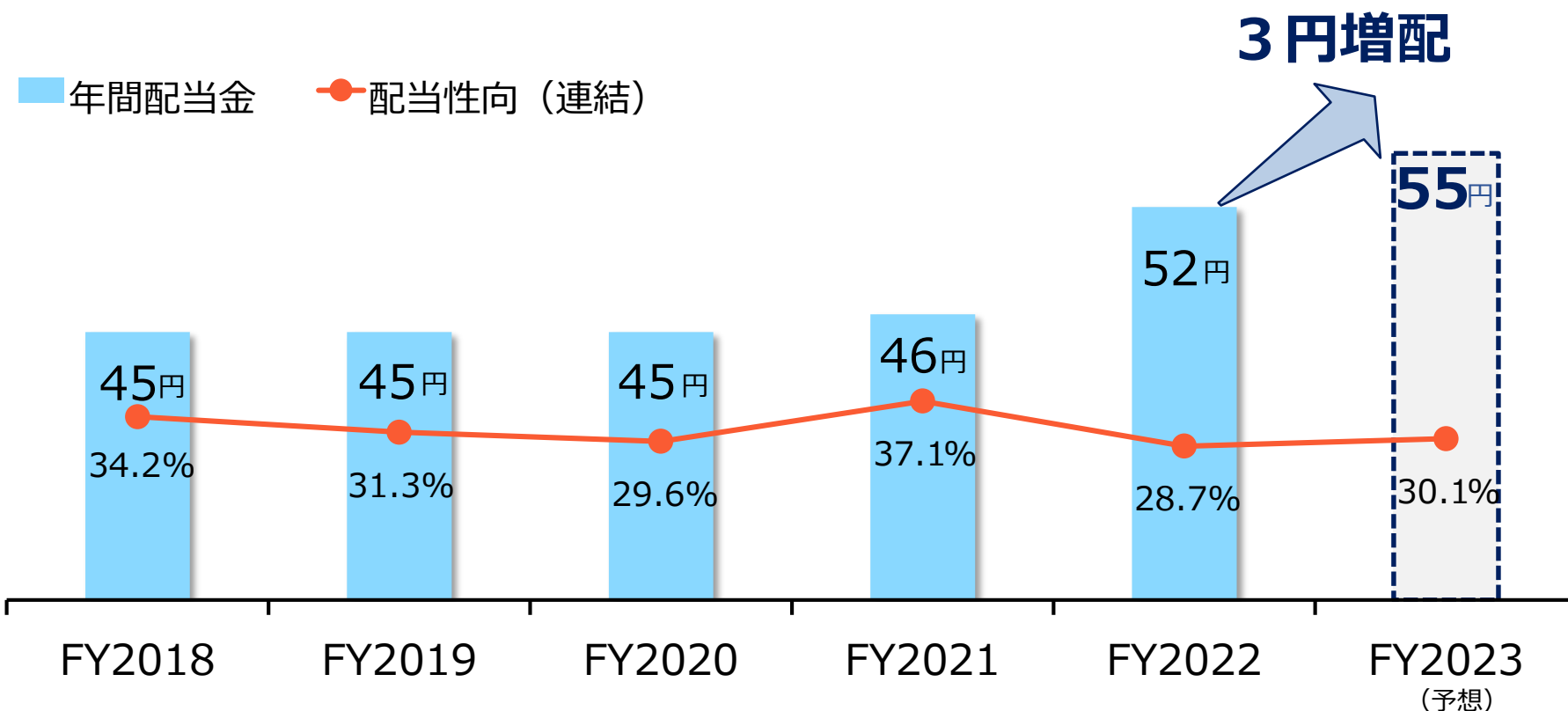
7) 地域別売上高

国内売上高は前期比226百万円の増収。海外売上高は前期比423百万円の増収
※アジア地域(主に中国・韓国) で369百万円の増収



2. 株主還元

FY2023 (予想) 配当金 : **55円** (FY2022比 **3円増配**)



※自社株式取得 : 2016年12月~2017年5月に120百万円 (100,000株) 実施
自己株式消却 : 2017年7月に300,000株実施

3. トピックス

機関投資家・アナリスト等の方々を対象に2022年度決算説明会を開催

機関投資家向け決算説明会を2023年6月20日（火）に東京駅グラントウキョウノースタワー17Fにて開催しました（会場とWeb併用のハイブリッド型で実施）。

[主な説明内容]

- ①2022年度決算の概要
- ②当社製品のソリューション事例
- ③今後の成長戦略
- ④トピックス（プライム市場の適合状況、新製品等）



今後も当社の戦略・取組みや技術力を投資家の方々にご理解いただくとともに建設的な対話を行うことを通じて、持続的な成長と中長期の企業価値向上に努めてまいります。

※ 説明会の内容につきましては、当日の動画・資料が、当社ホームページ（IR情報－決算説明会－機関投資家向け）に掲載されております。

URL : https://www.chino.co.jp/financial/financial_results_briefing/

4. 通期業績予想

通期業績予想（2023年5月12日発表から変更なし）

部材供給不足やエネルギー価格高騰の継続、各国の金融政策変更に伴う景気の減速懸念や世界的な金融不安等により、先行きの不透明感は増しているものの、主要顧客（自動車・電子部品分野等）および脱炭素化に向けた水素関連分野での需要継続が見込まれる状況であり、2023年度の通期業績予想（2023年5月12日公表）は変更しておりません。

（百万円）

項目	FY2023 業績予想 (2023年5月12日発表)	FY2022 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	26,000	23,793	2,207	9.3
営業利益	2,150	2,018	132	6.5
経常利益	2,350	2,294	56	2.4
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,550	1,536	14	0.9

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO